

豊間根関口線の歩道整備は

28年度に工事を実施

問 豊間根小学校に隣接する町道豊間根関口線に歩道を整備するとあるが、歩道の総延長・幅員等の規模・整備期間は。

佐藤町長 歩道は総延長1010メートル、幅員2メートルで整備する。27年度は測量設計と用地買収、28年度に工事を実施し完了予定である。

問 中村橋を過ぎた上豊間根自治交流会館まで延長できないか。ガードレールや街灯等の設置は。

建設課長 その丁字路は長年の課題であった。今回の歩道整備計画の中では建物を除却し、隅切り（※注）をしたいと考えている。地権者の理解を得て、どうにか整備したい。

問 豊間根小学校前には工場があり、3・11の津波被害で新しい店や商業施設も建っている。国道45号から新田に入りまする道路は以前から道幅が狭く、ダンブや大型バスが通るのに大変なところである。地権者のこともあり難しい課題であるが、今度の事業計画でこの点も改良するよう切望する。見通しは。

※注 【隅切り】
道路の交差点で曲がり角を通りやすくするため、敷地の出隅を切り取ること。

放課後児童クラブの安全確保を

フェンスを設置するよう調整



豊間根放課後児童クラブの子供たち
(4月1日開所、利用者29人)

問 豊間根地区放課後児童クラブの職員体制は。

町長 4月1日から指導員2人、補助的職員3人、運転手1人で運営。

問 建物の入り口前は、豊間根支所への来訪者や、保育園児の送迎で自動車の出入りが激しく、子供たちの自動車事故が心配だ。フェンス設置が必要では。子供たちがいきり体を動かせるよう、生活改善センターホールを使用させてほしい。

鈴木健康福祉課長 フェンスは設置するよう調整したい。生活改善センターホールは使用していく。

その他の質問

- ◆ 町の総合戦略の基本的な方向性は
- ◆ 山田型復興住宅の特徴は
- ◆ いじめ防止基本方針における地域との関わりは



吉川淑子議員
(政和会)

電気牧柵導入経費などに助成

問 近年増加している農作物への鳥獣被害の対策として、被害防止資材導入に対する助成をすることだ。鳥獣被害は全国で問題となっている

町長 近年、ニホンジカによる水稲や大豆等の被害が増大し、農業者の生産意欲を減退させる一因となっている。

農業者や農業団体を対象として、電気牧柵、侵入防止柵導入に要する経費に対し、6万円を上限として、3分の2以内の額を助成する。

鳥獣被害防止への助成は